

こんごうりきしぞう
金剛力士像
 (仁王)

■ 出土地：首里城跡（那覇市）

「まいコレ」では、収蔵庫に眠るイ
 チ押し^{イチオシ}の出土品を、月替わりでご紹介。
 今月は、出土品としてはレアな金剛力
 士像の紹介です。

この石製の金剛力士は、首里城跡の東のアザナ^{あがり}*1 から出土
 したものです。左腕と足首を含む台座部分以外は、ほぼ全体
 が把握できる資料で、全長が21.5cm、重量が360gあります。

金剛力士とは仏敵から仏の世界を守る守護神で、口を開
 けた「阿形」^{あぎょう}と口を結んだ「吽形」^{うんぎょう}が一对として、寺院の門な
 どに置かれます。出土した像は阿形で、頭に小型の冠^{かんむり}を頂き、^{いただ}
 顔の大きさに比べ大きめの目鼻立ちをしています。またアー
 モンド型の目は赤く彩色されており、迫力を増しています。

石材は沖縄では得られない溶結凝灰岩^{ようけつぎょうかいがん}で、薩摩産^{さつま}の可能性
 が高いと考えられます。石製の金剛力士は、類例資料のとおり
 天界寺跡からも出土していますが、大きさがかなり異なります。

*1 東のアザナ … 標高120mに位置する、遠くを見渡すための物見台。

【類例資料】

金剛力士像
 [天界寺跡出土]

高さ61cm
 最大幅53cm
 最大厚39cm



表

裏